（1）　第27841号　（明治25年3月28日第3種郵便物認可・昭和24年2月17日運輸省特別扱承認第16号）　上毛新聞　昭和47年7月11日　（火曜日）　（日刊）

上毛新聞
発行所
上毛新聞社
前橋市古市町90番地
郵便番号　371
電話前橋(51)4341（代表）
夜間編集局宿直(51)4344
振替口座　東京　36947
© 上毛新聞社　1972

伊香保温泉
九月全館完成
旅館　福一
ミノルボウル
電話　伊香保（〇二七九七）二―二一二三（代）

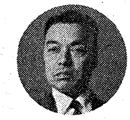
群銀、全国一の低金利に

消費者ローンなど引き下げ

最高二・九五％

20日の貸し出しから

銀行などの預金金利は十七日から〇・二五％―〇・五％に引き下げられるが、群馬銀行はこれを契機に保証協会保証付き融資と、独自の消費者ローンの貸し出し金利を大幅に引き下げることを決定、十日開いた支店長会議で諸田幸一頭取が指示した。消費者ローンでは最高二・九五％の引き下げとなり、これにより全国の都銀、地銀の中で一番金利が低くなったという。同行ではこうしたサービスの強化とともに、住宅ローンに重点をおいており、従来の生命保険つきローンのほかに八月からは損害保険つきの新種ローンも開始、全国最低の金利で住宅資金の融資を行なって、住みよい郷土づくりを助けるという。


諸田頭取

群銀の今回の貸し出し金利引き下げは、第六次公定歩合の引き下げと、預貯金金利の引き下げに伴って、利用者から強く要請されている貸し出し金利にも、ある程度銀行として収益がさがるのを覚悟のうえで実現させた形となった。

今回の金利引き下げで全国一の低金利となった群銀消費者ローンは、生保付き住宅ローンの三種。

新しい金利は二十日からの新規貸し出しから適用される。

生保付き住宅ローンは現行九・四八％だが、これを五年から二十年まで貸し出し期間を五年きざみに分け、五年の七・九％から二十年の八・八％まで期間によって金利を変えた。これにより最高一・五八％、最低でも〇・六八％と大幅な引き下げとなったが、さらに融資額も現行の年収の二倍、五百万円の限度額を、年収の三倍、二千万円まで大きく引き上げ、融資期間を最長十五年を二十年とした。

住宅ローンは群銀としては一般融資の柱として重点をおいており、五月末現在で約百億円を貸し出しているが、この強化のため損害保険付きローンも八月から新設する。これの名称は〝ぐんぎん保証保険付きホーム・ローン〟で、個人住宅の新・増・改築や宅地購入資金が対象。条件は生保付きローンとほぼ同じで住宅ローンは今後生保と損害保険の二本建てで利用者の希望にこたえていくという。

また、金利引き下げとなる商工ローンと暮らしのローンは、ことし一月からスタート、当初から低金利にしていたが、さらに引き下げる。商工ローンは現行一・五年は八％、三・五年が八・三％、五・五年八・七％となっているのを、一・五年七・六％、三・五年七・七％、五・五年七・九％と最高〇・八％、最低でも〇・四％の引き下げとなる。暮らしのローンは六％のアドオンを四・七％に下げるが、これは実質金利が現行一一・六六％となっているのを八・七一％になるわけで、実質的には三％近い引き下げとなっている。

このほか、保証協会の保証付き融資については、制度融資を除く一般融資の現貸しは、手形などの書き換えのときから現行利率より一率〇・五％引き下げる。これは保証協会の承認があれば、十一日からでも実施する。

「新福田派」あす発足

自民党の福田派（紀尾井会）が十日午後の総会で、同派を発展的に解消することを決めた。すでに園田派（春秋会）と佐藤派保利系（周山クラブ）も同様の態度決定をしており、親福田グループ三派による「新福田派」が十二日発足することが本決まりとなった。

この総会の席上、福田赳夫氏は「わが国の政治が派閥に左右されることに疑問を持ち、派閥解消を提唱してきた。総裁選挙後の政治情勢をみるとき、同志が大同団結することが、この理想を実現させることになると決意した。保守党の体質改善のため、同志と共に前進したい」と決意を表明した。

また田中内閣への入閣を拒否している三池信氏は、特に発言を求めて「福田氏を中心とする党風刷新の基本的な考え方は、今も変わっていない。ただ急速に持ち上がった新派閥結成には、いささか心の整理もできない点があり、態度を保留したい」と述べた。

三池氏の入閣問題については、自民党内にはとかくのうわさも出ているが、福田氏らは「三池氏の派閥解消の信念は変わっておらず、独自の行動をとることはないと確信する」とみている。

しかし三池氏の選挙区（佐賀）では三池氏の入閣を強く推す動きもあり、同氏の去就が注目される。

三池氏、入閣希望と判断

政府は福田派の入閣拒否問題について、同派との接触を続けているが、十日、三池信氏については入閣の希望が強いものとの判断を固めた。三池氏はもともと佐藤派に属し、三十九年池田・佐藤の総裁選決戦前に派閥解消を掲げた福田派に移っていたが、今回の新福田派結成にはかなり批判的な態度をとっているものとみられる。

政府としては、三池氏の態度が明らかになれば、郵政相として入閣させる方針を変えておらず、また有田喜一氏についてはさらに福田派との話し合いを続け、今週前半には解決したい意向である。

福田氏、15日に帰郷

福田赳夫代議士は十五日午前、二日間の予定で帰郷する。今回は総裁選で県民の激励と協力にお礼する目的で、要請されれば知事選の応援もすることにしている。

十五日午前十時ごろ前橋着、県連、神田事務所などを回って、午後二時すぎから藤岡、富岡、安中、高崎群馬町、渋川（夕食）を訪れて伊香保に泊まる。十六日は午前中、中之条、沼田、昼食を前橋でとって、午後は伊勢崎、桐生、太田（夕食）館林を訪れて帰京する。

前橋、伊勢崎で意見調整

両毛線複線化

国鉄の出方一つ

両毛線複線化促進同盟会は昨年来、開店休業の状態だったが、国鉄の上越新幹線計画の推進に伴い、両毛線沿線の群馬、栃木両県の市町村間で複線化促進運動が再燃してきた。すでに同盟会は今年度から再発足の方針を固めている。とくに前橋市は新前橋駅―前橋駅、駒形駅―伊勢崎駅の複線化の可能性がある、と伊勢崎市と意見調整を進めている。

両毛線の複線化は同線の電化と合わせて三十三年から沿線の十六市町村と商工会議所が主体となって促進運動を展開してきた。これまでに電化は実現したが、複線の方は前橋駅―駒形駅間、栃木県分は佐野駅―岩船駅区間がわずかに実現しただけ。

国鉄当局は同線が百六本、二万人の輸送力を持ちながら、現実には約三分の一の六千人しか利用者がなく、四十年は六億円、四十五年は十五億円の赤字が出ているため、その後の複線化には難色を示してきていた。

しかし、今年になって高鉄局も新幹線の高崎駅の利用を考えはじめ「高崎駅―前橋駅間は二十分間隔」とか「新幹線完成の五十一年メドに両毛線を整備しなければ」などと、暗に複線化実現の機運を地元から盛り上げてほしい意向をもらしている。

促進同盟会は国鉄が複線化に気乗り薄だったため、昨年はおもだった促進運動はされず、あきらめムードで前橋市などは複線は今後ないと判断、新前橋駅近くの沿線の区画整理で、両毛線拡幅のための用地を考慮しないで実施してしまっている。

しかし、同市は「国鉄が複線に取り組むなら」と複線化を再考しはじめており、伊勢崎市と連携して新前橋駅―前橋駅、そして駒形駅―伊勢崎駅間へと実現させていきたいと情勢をうかがっている。

問題は国鉄がこの複線に対してどれほど積極的に取り組んでいくかで、用地確保、とくに資金面で国鉄が赤字経営を理由に、地元に多額な出資を要求してくると、再び複線化は立ち消えになるおそれがある。

関係者の間では「国鉄ばかりが交通網ではない。道路網を整備してバス運行を確立したり、百五十万都市構想のモノレール建設もあるので、両毛線の複線に固執することもないのではないか」という見方もあり、要は国鉄の出方にあるようである。

春秋会解散決める

新福田派参加、一部脱落も

自民党の春秋会（園田直会長）は十日午前十一時から緊急総会を開き「新福田派」へ大同団結する問題について協議した結果、まず全員一致で会を解散することを決めた。しかし新派閥への参加については、一部で態度を保留する意見が出たため、十二日までに各人は態度を決めることにしているが、数人の脱落は確実とみられている。

この日の総会で、園田会長は現在の政治情勢を説明し「私と行動を共にし、福田赳夫氏を中心とする組織に参加してほしい」と要請した。これに対し「伝統ある春秋会の解散は納得がいかない」との意見が出されたが園田氏は「単なる派閥の解消ではなく、新しい政治理念を新派閥に持ち込んで生かしていくので、発展的解消である」と強調、各人ともやむを得ないと、全員一致で解散を了承した。

しかし新派閥への参加については、根本竜太郎、高橋清一郎の両氏が態度を保留したため、十二日の新福田派結成大会への参加については特に議題にせず、十二日まで各人が態度を決めることになった。

当初、園田氏は福田陣営の大同団結については消極的で、むしろ各派の自主性を尊重しながら連絡を密にする「協議会方式」を主張、派内の一部にも①解散には心理的に抵抗を感じる②古い世代では〝右寄りムード〟の福田グループにはなじみにくい―などの意見があった。しかし一方では、今度の組閣、党人事から完全に締め出されたほか、年内解散が予想される情勢では、少人数の派閥では総選挙がたたかえないなどの事情が新派閥への参加に踏み切らせたものといえよう。

この日の総会には次の十一氏が出席した。

松田竹千代、園田直、根本竜太郎、中川俊思、白浜仁吉、高橋清一郎、藤尾正行、藤波孝生、山本幸雄、笠岡喬、向山一人。

組織委員長に石田氏

自民党役員人事

自民党の橋本幹事長ら党執行部は十日午後の三役会で全国組織委員長など未定だった党役員の人事を決め、田中首相の了承を得た。十一日の総務会で了承を得て正式に決定する。

全国組織委員長には石田博英氏（三木派）国民運動本部長原健三郎氏（船田派）財務委員長小金義照氏（福田派）党紀委員長田中伊三次氏（石井派）のほか、広報委員長に原田憲氏（水田派）がそれぞれ起用されている。

岡部氏が急きょ出馬

太田の県議補選

福田氏

片亀氏

岡部氏

太田市の県議補選は十一日告示されるが、十日になって急きょ、社会党公認で岡部一雄氏（四〇）＝同市強戸＝の出馬が決まり、さきに立候補を表明している福田作三氏（五一）＝自民・新＝とかたかめ欽司氏（三七）＝共産・新＝の三氏の間で争われる見通しである。

福田、かたかめ両氏の出馬は早くから決定していたが、社会党は人選に手間取り、動向が注目されていたが、九日深夜、党太田総支部（須永城次委員長）の幹部会で岡部氏の立候補が正式決定、十日になって関係協力団体へあいさつ回りを始めた。福田、かたかめ両氏の運動はすでにスタートしており、告示前日になっての出馬表明で社会党としては出遅れの感はまぬかれないが、内部では〝根回し〟がすんでいるとみられること、市内の社会党基礎支持票は一万数千票あるといわれ、昨年五月の市長選では小川省吾氏が二万票を突破、激しく田島宗仁市長に迫っただけに、岡部氏の出馬は低調が予想される県議補選に波乱を呼ぶものとみられる。

桐生では五氏

桐生市は保守三、革新二の五人の立候補が予想される。立候補予定者は医師・無新杉野昇氏（四八）宇野産業社長・同宇野譲氏（三七）繊製業・同桑原辰雄氏（三七）の保守系三人と電電公社職員・社会新内林繁夫氏（四〇）団体役員・共産新尾根山正二氏（三七）の五氏。

有権者は九万三千九百六十七人（男四万三千六百人、女五万三百六十七人）で、昨年前回の投票率は八〇・四三％。

政財界情報

教育界にも革新の波

心安からぬ山川氏

沖縄、埼玉などに革新知事が相つぎ誕生したが、その余波が〝中立〟を堅持する教育界にも広がっている。教育長の全国組織には全国教育長協議会があるが、このうち協議会を代表するのが幹事長で、このポストは東京都教育長が踏襲、さらに副幹事長にことしから埼玉と三重両県教育長が当たることになっている。したがってこんどの埼玉の革新知事誕生により、教育界は幹事長と副幹事長に革新都県が当たるわけで、大阪、京都、沖縄の革新府県の教育長と合わせて全国教育長協議会は新しい動きを無視出来なくなりそう。

革新都府県の教育長は、これまで協議会の中でも発言が少なく、部会などではこれまでの大勢に没し目立たなかったといわれているが、新たに革新二県を加えて動きも微妙になっている。山川県教育長はこのほど関東ブロックの教育長会議に出席したが「埼玉の教育長は新知事が公約で高校を三十校ふやすといっているので教育予算も取り易くなる、と喜んでいた」といい、革新県政になっても、中立の立場にある教育は左右されてはならないむねを強調するが、同協議会の第一部会の部長にある山川県教育長にとって、革新旋風は内心、心安からないものがありそうだ。

圏域を指定

自治省は十日、四十七年度の広市町村圏設定地区として北海道路地区など八十四圏域（六百六市町村）を指定した。

四十四年にスタートした広域市町村圏づくりは、これで予定された全圏域がほぼ出そろい、東京など大都市周辺を除くわが国面積の九四・六％、全人口の五九・二％を包み込んだ合計三百二十九の「広域市町村圏ネットワーク」設定が完了したことになる。

本県関係次のとおり。

前橋＝前橋市、富士見村、大胡町、宮城村、粕川村▽吾妻＝中之条町、東村、吾妻町、長野原町、嬬恋村、草津町、六合村、高山村▽多野藤岡＝藤岡市、新町、鬼石町、吉井町、万場町、中里村、上野村▽桐生市ほか六カ町村＝桐生市、大間々町、薮塚本町、笠懸村、新里村、黒保根村、東村

選挙する人も政治の責任者

7月23日は知事選投票日

根小屋町の現場視察

きょう高崎市議会建設常任委

高崎市議会建設常任委員会（土屋利一委員長）は十一日、建設関連の[illegible]丘陵の一角をきりくずして住宅団地造成が進められている根小屋町の建設現場を視察する。

青少年に自然を

松井田の妙義山

野外センター、27日にオープン

高崎市等広域市町村圏組合では青少年を自然に親しませ、自然との対話をはかるため、碓氷郡松井田町の妙義山中に、西毛地区の〝野外センター〟と〝国民宿舎〟の造成計画を進めている。このうち、〝野外センター〟は施設の整備も順調にはかどり、二十七日にオープンの予定。

野外センターは、松井田町恩賀の裏妙義、敷き地一九、二五〇平方㍍の高原、雑木林（標高五五〇㍍）に、事業費一千四百七十七万余円で管理とう（一八〇平方㍍）便所、水場、駐車場を建設、別にテント六人用三十張り、四人用十張りを準備する。利用希望者は関係七市町村教委に申し込む。料金は一日五十円。交通機関は旧松井田駅前、群バス車庫から一日三本バスがでている。

国民宿舎は同町五料の連合赤軍がアジトに使った籠沢入り口の千蔵院平国有林一〇、〇〇〇平方㍍で、現在、前橋営林局と用地交渉を行なっているが、同営林局でも、公共施設に対する国有林の積極的開放を明らかにしているので、問題は少ないもよう。営林局の許可がおりれば、本年度から二カ年で、九千万円の事業費を投じ、五十人収容の宿舎（一、〇七八平方㍍）などを建設する。

【西毛の青少年用野外センター】

きょうの立会演説会

▽午後二時　吾妻郡中之条町・一中体育館（小野寺、神田、栗原）

▽午後七時　渋川・市民体育館（神田、栗原、小野寺）

☆税務所異動（十日発令）

▽佐野税務署長（前橋税務副署長）斎藤恒民▽水戸税務署長（高崎税務署長）富山昌男▽行田税務署長（伊勢崎税務署長）番馬三作▽荒川税務副署長（中之条税務署長）山本嘉男▽関信局営繕課長（沼田税務署長）松本四一▽同管理課長（桐生税務署長）宮崎松之助▽前橋税務署長（松本税務署長）稲垣啓一▽前橋税務副署長（宇都宮署総務課長）飯島啓一▽高崎税務署長（館林税務署長）田中源一▽伊勢崎税務署長（太田税務署長）山口公生▽中之条税務署長（局監察官）瀬下元通▽沼田税務署長（局所得税課補佐）三沢秀康▽桐生税務署長（局監督官）高橋茂▽館林税務署長（局徴収課長）町田市三。

本社来訪（10日）

▽新任あいさつ　陸上自衛隊第十二師団長　広谷次夫氏、前橋郵便局長　松永春男氏、関東郵政監察局前橋支局次長　深沢良彦氏

記者席

勉強が大変だ　前原議員

今後ともよろしく　浅沼支配人

前原議員

〇…藤岡市議会の建設委員長に前原六郎議員（三九）が就任したが、公明党からの常任委員長は県内各市町村でも初めて。「だから責任が大きい」という。そして「藤岡は関越道、上越新幹線、二五四号線バイパス、南部開発など発展過程なので問題が山積している。建設委員会はそのどれもに間接、直接にタッチするわけで、これからの勉強が大変だ」というものの、自信たっぷりの表情だ。

「藤岡はまた舗装率が悪いから陳情もくるだろうし、容易ならない立場だが、がんばる」と三十九歳の若いところをみせていた。

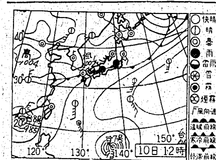
〇…甘楽郡下仁田町から二〇〇㍍しか離れていない長野県佐久市の山荘あらふね（浅沼政太支配人）は八月上旬オープンをメドに、工費約七千五百万円で新築中。浅沼支配人は「昨年は七万人の利用者があったが、ことしは十万人来てもらう」と意込んでいる。

新しい山荘は約一〇〇〇平方㍍で、六〇度のＶ字形で物見山、荒船山、八ガ岳など眺望もいいという。浅沼支配人は「お客さんの半数は群馬県人で、しかもお金を使ってくれる人の七割は群馬県人です。今後ともよろしく」と一足早い暑中見舞い。

浅沼支配人

三山春秋

桐生市の西小学校は教育熱心な父兄が多いので有名だが、このほど完成した新校舎はなかなかこったもので、二階の職員室と体育館に通ずる階段は幅広くゆるいカーブを持たせ総工費四億円をかけた。ヨーロッパの古城を思わせるムードがただよい、参観のおかあさんたちもびっくりするほど▼「桐生には年間二十億円以上の競艇収入があるから…」と割り切ってしまえばそれまでだが、市当局の教育行政にかける熱意はかってよいだろう。ただ、もう一つ、都内大学に進学する子弟の宿泊施設を考えてほしいという希望が市民から出ている▼中卒のほとんどが高校に進学、高卒の七、八割は大学進学の昨今、問題になるのは都内での生活費と居住環境である。唯一の県営施設「上毛学舎」は競争率が激しく、なかなかはいれない。寮完備の大学はともかく、一般の下宿生活では月に三、四万円の送金は必要といわれ、特にサラリーマンの保護者にとっては多額の入学金と合わせて毎月の経費ねん出は身を切られる出費で、市営施設がほしい、と訴えている▼九州のある市ではそうした施設を都内につくり、安い費用で通学させ、上京した市職員の宿泊所も兼ねて大いに成績をあげているところがある。保護者から深く感謝されていることはもちろん、郷里の愛情で勉学できることによって、学生の心の中に郷土に対する信頼と責任感が育っていくという▼桐生市の人口はここ数年来十三万人台を横ばいしている。というのは若者が他市に流出し、老化現象にあるということである。〝斜陽都市桐生〟ときめつけられるゆえんだが、市役所にも大卒者が続々と採用されているこのごろ地元産業の将来をになう子弟の教育はゆるがせにできない重要な市民サービスである。都内や、その周辺に施設を持つことは予算面からも大変だろうが、桐生ならこれができるはずである。競艇収入を有意義に役立てるためにも早急に検討してはいかが。



きょう　東の風雨が降ったりやんだり。

あす　北のち南東の風曇り、一時雨。

7月11日	
月齢	0.3
日出	4.34
日入	19.04
月出	4.40
月入	19.26
満潮	4.19 18.27
干潮	11.23 23.39

梅雨前線は本州の南岸沿いに停滞している。このため北日本は天気がよいが、その他の地方は曇りで雨の降るところが多い見込み。

きのう前橋の最高気温二一・三度、最低気温二〇・〇度（前橋地方気象台）

毎夏ご好評の品に今年おすすめしたい品を加え　お中元は前三　全店中元大売出し

味の素セット　2,000円〈地階〉
山形屋のりセット　3,000円〈1階〉
婦人汕頭ハンカチーフ（4枚）　1,000円〈1階〉
花王石けんホワイト（16コ）　800円〈1階〉
ゴルフボール（10コ）　3,000円〈6階〉
エビスビール（20本）　3,000円〈1階〉
西川さわかぜ　パナマ調座布団カバー5枚・うちわ　2,000円〈4枚〉
紳士靴下セット（靴下3足・ハンカチーフ1枚）　1,000円〈2階〉

総合ギフトセンター開設〈6階サロン〉

土曜・日曜は6時30分まで営業いたします。

★カルピスセット……1,000円〈地階〉
★前三特選砂糖（化粧缶入）……1,000円〈地階〉
★キッコーマン醤油……1,000円〈地階〉
★中村屋水ようかんセット……1,500円〈1階〉
★前三特選椎茸セット……1,500円〈地階〉
★アサヒビール（一打）……1,820円〈1階〉
★雪印乳製品セット……2,000円〈地階〉
★サントリーオールド（グラス2コ）……2,000円〈1階〉
★オシボリタオルセット……500円〈2階〉
★紳士クレープシャツ上下組（綿100%）　1,000円〈2階〉
★紳士ワンポイントポロシャツ（麻混）2,500円〈2階〉
★資生堂オリーブ石けん（15コ）……500円〈1階〉
★カネボウ絹石けん（10コ）……500円〈1階〉
★ペリカン石けんローヤルセット……800円〈1階〉
★ラックス石けん（イギリス製12コ）……1,000円〈1階〉
★シキボー本麻枕カバー（2枚）……1,000円〈4階〉
★西川ふるさと（クレープ衿布・シーツ）　1,500円〈4階〉
★本パナマクッション（2枚）……2,000円〈4階〉
★ロフテー本麻シーツ（桐箱入）……5,000円〈4階〉
★アイス紅茶セット……1,000円〈5階〉
★クックベッセルケットル……1,450円〈5階〉
★アイスペールセット……2,300円〈5階〉
★スモーキングセット……3,200円〈4階〉

前橋　前三　TEL（31）6111

沖縄の物産と観光展
●16日（日）まで／6階催場
陶器類・手作りガラス器・琉球漆器・琉球織物・染物・サンゴアクセサリー・ベッ甲アクセサリー・貝殻・白サンゴ・皮製品・玩具・人形類・民芸品・琉球切手・絵ハガキ・本・レコード・園芸・亜熱帯植物・海産物・食料品・琉球泡盛など豊富に取揃えました。
実演販売　三月菓子・ポーポー焼・月見もち・黒糖カステラ・天姫舞まんじゅう・生ジュース・黒糖もち・黒糖みつ豆・カットパイン……

海ゆかば水漬く屍、山ゆかば草むす屍
玉砕の島々から………
遺骨収集展　―写真・遺品展―
●16日（日）まで／6階催場
■主催／群馬県遺族会
■後援／日本遺族会
玉砕の島々から遺骨収集の写真110枚と遺品水筒ほか10点を展示。

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。